

成功(幸せ)のための方程式

成功 = (情熱 + 人間力 + 仕事力) × 運

情熱: パッション, 人間力: マインド, 仕事力: スキル, 運: ラック

— 新 将 命 —

■ 運とは運ぶことのできるもの。成功のパイを最大化する四つの条件

『情熱、スキル(仕事力)、マインド(人間力)、運、これら四つの要素において最も重要度が高いのは「運」、次に「情熱」、続いて「人間力」、最後に「仕事力」という順番である。情熱やマインドやスキルがいくら十分にあっても、運がゼロなら掛け算の積もゼロになってしまう。どんなにやる気があっても、どんなに人から信頼されて仕事ができても、運がなければダメだということ。「運」という字は「運ぶ」と書く。考え方ややり方によっては自分のところに運を運んでくることができる。』

【運(ラック)】

どんなにあがいても変えることができないものを「宿命」という。持って生まれた素質や個性などは「宿命」に当てはまる。しかし「運」はそれとは違う。自分の力ではどうすることもできない宿命とは違い、「運」は自分がその気にさえなれば運んでくることができる。宿命がマネジメント不可能であるのに対し、運はマネジメント可能である。

【情熱(パッション)】

成功の原点は情熱である。社員が100人いたとして、一番仕事ができる人と一番未熟な人との差は、せいぜい五倍ぐらいのもの。しかし情熱は百倍の差がつくこともある。もし情熱度がゼロという人がいるとすると、その差は百倍どころか無限大になってしまう。

【人間力(マインド)】

周りから「信頼」と「尊敬」を勝ち得ているかという点に集約される。信頼される人は「あの人と一緒に仕事をしたい」「あの人の言う事に従おう」と周りの人に思われるため人がついてくる。

【仕事力(スキル)】

営業、企画、経理、人事、製造—。どのような分野であれ、この仕事については人後に落ちないと胸を張って言えるレベルの「得意技」がなければ、社会では通用しない。

■ 運をよくする四つの方法

- 「自分は運がいい」と思いつづける
「自分は運がいい」と思いつづけることで、表情が明るくなって言葉も前向きになり、やがて周りを元気づけるような言葉が口からでてくる。そういう人のところに、人は喜んで集まってくる。
- 「運気」をくれる人と付き合う
人間とはよくも悪くも付き合う人から非常に大きな影響を受けるものである。運のいい人と付き合い運気をわけてもらう。逆に、運の悪い人と付き合うとこちらの運気を吸い取られてしまうので要注意。
- メンター(師)を三人持つ
人生におけるメンター(師)を持つことは非常に重要である。もしメンターがいないのであれば、三人探すことを目標にする。
- 学びつづける
伸びる人に共通していることは、学ぶ習慣が身についていることである。昨日より今日の自分、今日より明日の自分のほうが半歩でも一歩でも前に進んでいるために、時間とお金を自分に投資して常に“自分磨き”を忘れない。そういう人が人生で成功する人だと言える。伸びる人は学びつづける人であり、学びを忘れた瞬間から後退が始まる。